



# おおはし



ポインセチア

第18号

校長 野瀬 浩一

## 2学期をふり返って～

先日、2023(令和5)年の漢字が発表されました。今年は「税」という字です。小学生には、なじみが薄い字かも知れませんが、もっと希望あふれる字が選ばれる年であってほしいです。

さて、大橋小学校にとって今年の漢字は、何という字でしょうか?先生たちに書いてもらいました。

「食」「水」「耐」「助」「聞」「幸」「楽」「忙」「恩」「支」

理由も書いてもらいましたが、スペースの関係で裏に載せていますので、ご覧ください。

私は、「支」という言葉を書きました。「支」とは、「ささえる」と読みます。改めて、大橋小の今があるのは、自分が知らないところで、たくさんの人に支えられていることに気づかされた一年でした。改めて「当たり前」であることが、実は当たり前ではない、多くの支えがあることを忘れてはいけないと思います。感謝しかありません。

今年は、7月10日の大雨災害ぬきに大橋小の1年を振り返ることはできません。この大雨災害によって、語弊があるかもしれませんが、本当に貴重な経験をさせていただきました。子どもたちにとっては、被災というマイナスの経験もありましたが、プラスの経験もたくさんあったと思います。私たちのためにたくさんの方々、物心両面で支援をしていただきました。私たちは、これらの支援に勇気・やさしさをもらい、平常の生活を、笑顔を取り戻すことができました。きっと他にはできない経験をしたからこそ、子どもたちも成長できたのだと感じます。多くの方に支えられていることに感謝の1年でした。

## リアルタイムで世界とつながる～バーチャル英語体験～

2学期も押し迫った12/20に、5・6年生が、オーストラリアとオンラインで英語を使って交流しました。オーストラリアのゴールドコーストとオンラインでつなぎ、画面ごとに現地の案内役のエンジェルさんから英語で説明を聞いたり、質問をしたりして会話を楽しみました。テレビ画面の青空とビーチの風景に「わあ～」とうらやましそうな声があがったり、エンジェルさんの英語にうなづきながら笑顔で答えたりしていました。質問コーナーでは、5年生は「オーストラリアの人気の食べ物は何か?」「人気のスポーツ、アニメは何ですか?」と英語で質問をし、英語でやりとりをしました。6年生は、「人生の思い出は?」「子どもの頃の夢は?」とさすが6年生、難しい質問をしていました。実際に外国とオンラインでリアルタイムで話ができる体験は、子どもたちにとって目の前に世界が広がっていることを身近に感じられる貴重な体験でした。



## 子どもたちへのクリスマスプレゼント～民音ミニ・コンサート～

7月の大雨災害から暫くして、「子どもたちを元気づけたい」と民主音楽協会から申し出があり、12月14日午後からミニコンサートを開いていただきました。熊本阿蘇を拠点に活躍されているデュオ(2人組)「Viento(ビエント)」は、2016年熊本地震での被災の経験をもとに自然の豊かさや人と自然の共生をテーマにオカリナ・ケーナとシンセサイザーで幻想的な音楽に子どもたちも癒やされました。また、民族楽器の紹介と希望した子から6人の子どもたちが、体験させていただき、最後は「ものけ姫」をVientoのお二人と合奏で、大きな拍手でいっぱいになりました。



ピタゴラスイッチをひくのがじょうずだったし、いろいろな楽器を使って、どれもじょうずでした。とちゅうにマリオの歌が出てきてびっくりしました。ぼくも、いろいろな楽器をすたくなりました。(2年 鹿毛いっき)

すてきな音を出してくれてありがとう。めっちゃじょうずだったよ。みんなもありがたよ。また大橋小に来たら、あらしの音になるやつをしてみたいなあ。～ほんとにめっちゃたのしかったよ。(1年 長洲りん)

いろんな楽器があって面白かったです。聞いたことのない嵐の音を出せて本当に風みたいでした。～音楽を嫌がってやるより好きでやる方が楽しいと知ったので、音楽を楽しめるようにがんばります。(6年 平田こうろう)



ビエントさんから色紙をいただきました

### 1月行事予定

- 9火 3学期始業式 11:15下校  
集団登校日 あいさつ運動
- 15月 いじめアンケート 5・6年歯科指導
- 16火 委員会活動(4～6年) PTA 役員理事会
- 17水 地震避難訓練  
中学校入学説明会
- 18木 なわとび集会
- 19金 代表委員会(1年生見学)
- 23火 クラブ活動
- 24水 PTA 人権学習参観 人権講演会  
学級懇談会
- 25木 4小合同6年生学習会
- 26金 お話会(昼休み)
- 30火 新1年生入学説明会



### 2月行事予定

- 1木 あいさつ運動 全校朝会  
2年4小合同学習会
- 2金 オリエンテーリング集会
- 5月 いじめアンケート 委員会活動(新旧)
- 6火 3年社会科見学(くるめりあ)
- 8木 5・6年エコ教室
- 9金 代表委員会
- 9～15土ロメディア週間④
- 13火 クラブ活動
- 16金 お話会
- 18日 青少年健全育成駅伝大会
- 20火 4年社会科見学(八女伝統工芸会館)
- 22木 6年社会科見学(人権啓発センター)  
職員研修のため給食後14:00下校



## 大橋小の先生たちの“今年の漢字”

「水」…「天災は忘れた頃にやってくる」これは科学者で随筆家の寺田寅彦の言葉です。大橋小は、S28年6月に水害に遭っています。2度目はないと多くの人が思っていたことで しょう。やはり寺田の言葉が生きていました。自然は、人間の生存に必要な実りを与えてくれますが、他方、災害という形で恐ろしい姿を見せます。まさかの時の備えが大事だと思いました。

「耐」…たいへんなことがありましたが、みんな耐えてくれましたね。

「助」…慣れない仕事も被災後のいろいろなことも様々な場面でたくさんの人の助けがあって助かりました。助けられることも助けることも幸せだと思いました。

「聞」…2歳になっておしゃべりが上手になった息子の話をたくさん聞きました。声が聞ける、会話ができてって幸せだなと思いました。そして、息子と同じくらいかわいい4年生の話もたくさん聞きました。おしゃべりが大好きな子が多いので、どこからともなく話が飛んできます。にぎやかな毎日です。

「幸」…当たり前になっていたことが、幸せなことだったと気づかされました。毎日学校でみんなと話せる幸せ、困ったとき、助けてもらえる幸せ、大雨はたいへんだったけれど、そんなことに気づけたのは、一つの幸せでした。

「楽」…1年生のみんなとなると楽しいから、1年生のみんなと勉強すると楽しいから、1年生のみんなのお話を聞くのは楽しいから、1年生のみんなとがんばるのは、楽しいから、みんないっしょで楽しいから。

「忙」…とにかく忙しいから。考えることがたくさんあったから。あつという間の一年だった。水害もあって心が落ち着かない1年だった。6年生の子どもたちは忙しいからこそ、成長できると思いました。

「恩」…水害で経験したことのない状態になり、どうしてよいのかわからなくなったり、あきらめそうになったりしましたが、たくさんの方がボランティアに来てください、温かい声かけをしてくださったりする中で進んでこられた1年でした。ご恩に感謝し、自分にできることを精一杯やって元気に過ごすことで恩返ししたいです。

「食」…人間は食べなければ生きていけません。私の仕事も[食べる][食]という文字を切り離すことはできません。みなさんの食べる食材が安全か確認したり、食材を注文したり安心・安全でおいしい給食を食べられるように考えた1年でした。今年は大雨の被害で給食がいつから再開できるかたいへん心配しましたが、毎日みなさんがおいしく給食を食べる姿にほっとしました。

「支」…今年は、いろいろな人に支えられていることに気づかされました。水害があったから気づけたのですが、改めて今、自分がこうして元気でいられるのは、たくさんの方の支えがあったからだ。感謝の気持ちを忘れたら、バチが当たります。